

重点項目検討シート

1	項目	職員による協働の取組み
2	検討内容	まちづくりに対する職員の職務遂行の姿勢や自らの参加状況を検証し、今後さらに市民と協働のまちづくりを推進するための職員に求められる取組みを考える。
3	事前質問等	<p>(1) 職員の自己研鑽や職場研修について</p> <p>職員の自己研鑽や職場研修の取組み状況と内容を説明してください。</p> <p>(2) 具体例による職場研修の効果について</p> <p>職場研修などで身につけた知識や能力を発揮して、市民と協働して職務を遂行した事例について説明してください。</p> <p>(3) 今後の取組みについて</p> <p>今後さらに職員が責務を果たし、市民と協働のまちづくりを推進するために、どのような取組みをする必要があるか。</p>



担当課	職員課
-----	-----

4	担当課による回答
(1)	<p>職員の自己研鑽や職場研修について</p> <p>恵庭市人材育成基本方針に基づき、毎年「職員研修計画」を策定し、社会に貢献する職員を育成するために計画的に取り組んでいます。自己研鑽については「職員能力開発支援事業」「地域活動体験研修」を実施し、職員の主体的な自己啓発、自主研究、地域活動参加を支援しています。職場研修については、業務を通じて育成する「OJT」と業務外で研修等を受講する「Off-JT」に大別されます。OJTは各職場で管理職等の指導下で実施され、Off-JTは階層別研修や委託研修、特別研修(外部講師研修等)を実施しています。</p>
(2)	<p>具体例による職場研修の効果について</p> <p>職員課が主催、所管する研修としては、業務能力や政策立案の向上に加え、職員自らがスキルアップを目指す各種研修の受講や、懸案事業の解決をテーマとした先進地視察等に対する助成制度により、組織や職員能力の向上を図っています。</p> <p>ご質問の、協働をテーマとした研修は開催していないところですが、いくつかの研修においては、地方自治を取り巻く環境の変化(多様化する市民要望や地方自治の推進など)に対応した内容としていることから、協働についてもそうした研修において理解が進むものと考えています。</p> <p>また、職員が様々な場面でボランティア活動や行政活動とかかわりのある市民活動への積極的な参加に向けて全庁的に推進するなど、実践を通じた意識の向上を図っているところです。一例としましては、ボランティア活動では「市職員によるきれいなまちづくりキャンペーン」や「高齢者宅などの除雪ボランティア」といった活動、協働事業の主なものとしては、環境美化活動(市内各所での植栽やクリーン活動など)や市民団体が主催するまちづくりや活性化に向けた事業(「シーニックナイト」、JC主催のイベントなど)への支援や参加などが挙げられます。</p>

(3) 今後の取組みについて

人材育成基本方針が目指す職員像は「社会に貢献する職員」であり、人事制度基本計画では「市民の声を聞き、市民の立場で考え、行動できる職員」としています。こうした職員像は、上記で述べたような研修や実践を今後も継続していくことにより、一層の職員意識が高まり具体的行動につながるなど、市民との協働は進むものと考えているところです。さらに、協働によるまちづくりの意識や行動については、職員が備えるべき基礎的な素養であるとともに、経験や役職に応じた役割を職員個々が果たし、自ら成長していくために「キャリアデザイン」を設計、それに対応した各種研修を職員課では計画的に実施していることから、それらの取組みの中で、さらなる意識醸成の視点をもった研修の検討が必要と考えています。